

中学生が高齢者の災害支援を実施

～水を届けるボランティア～

和泉市立富秋中学校（校長：葛城雅之・生徒数 199 人）では、この度の台風 21 号に伴い、断水状態の続く高層階に住む市営住宅の高齢者のために、9 月 6 日給水スタンドから水を運ぶボランティアを行った。

この富秋中学校区では、富秋中学校区地域教育協議会を通じ、普段から地域の高齢者との交流が盛んに行われており、地域の高層団地に住む高齢者が水に困っているのではないかと、急遽、中学校を上げて給水ボランティアを行うことが決定し、生徒会の役員と野球部員の計 8 人が参加したものの。実際に給水ボランティアを行ったのは、市営和泉第一団地（10 階建て：住所 和泉市幸一丁目）で対象となる高齢者は約 200 人。

校区の町会長の向井光男さん（81 歳）は、「エレベーターも停止している状態で高層階宅に水を運ぶことに困っていた。子どもたちとの普段からの付き合いが功を奏したのではないか。」と目を細める。

実際にボランティアを行った高木 暁斗（たかぎ しょうと）さん（1 年生）は「重たかったけどやりがいは感じる。出来るかぎりのことはやりたい。」と話していた。

(写真)

階段で4階の女性高齢者宅に10リットルの水を届け風呂に水を入れる

高木 暁斗さん (和泉市立富秋中学校1年)

